

“元広告代理店営業マン”から救急救命士に大変身

Q1. 消防士になる前はどのような仕事をしていたのですか。

広告代理店で営業職を3年半していました。内容としては、外国人観光客向けの事業で旅行雑誌やタウン情報誌を担当し、お店の集客、売り上げ、認知度を上げるお手伝いをしていました。

Q2. 転職を考えるようになったきっかけについて教えてください。

入社して3年が経った頃です。入社時は、人の役に立つ仕事がしたいという思いで働いていましたが、毎日が忙しくあっという間に3年が経ち、ある時から売り上げのために仕事をしているのではないかと思うようになりました。モヤモヤした気持ちを持ち続けながら仕事をしていた時に、東日本大震災が起きました。過酷な状況で活動している消防隊の姿を見て、私も一緒に人命救助をしたいと思ったことがきっかけです。

Q3. 消防に転職してよかったことはありますか。

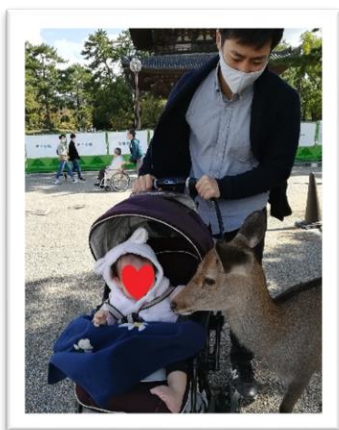
人の役に立っていることや応援してもらっていることを肌で感じる事が出来るようになったことです。現在は、救急隊員として勤務しており、傷病者や関係者の方に「ありがとう」と言ってもらえることが何より嬉しく感じます。また、家族で過ごす時間が増えたので本当に良かったと思います。

Q4. 前職の経験で消防に役立つことはありますか。

接遇です。救急業務は市民と直接関わることが多いので言葉遣い等で役に立っています。実際の救急現場で対応する方は、私より年上の方が多く、言葉遣いや対応等に敏感に反応する方もいます。自然と市民の一人ひとりに合わせた対応ができてるのは、社会人時代に培った経験があるからだと思います。

Q5. 営業職から消防へ入職したことで大変だったことはありますか。

体力面と職場の雰囲気です。消防学校の入校時は、訓練についていくのに必死でしたが、最後は嫌でも体力はつきました。職場の雰囲気は、入職する前は「消防＝怖い」というイメージを勝手に持っていました(笑)。そのため、初めはかなり不安を感じていましたが、入ってみるとそんな感じは全くなく、職場の雰囲気も明るく、風通しの良い環境だと思います。



Q6. 今後の目標を教えてください。

今年の3月に救急救命士の国家試験に合格しました。現在は、新米の救急救命士ではありますが、これからも多くの知識や技術を身に付けて、一人でも多くの人を救えるように努力していきたいです。

また、私が先輩の救命士から色々教わって成長できたように、私も後輩職員をしっかりと育てていけるような救命士になりたいと考えています。



Profile

名前 藤原 周平 (36歳)

階級 消防士長

27歳で転職を決意し入職。

2年間消防担当として勤務後、救急担当へ。令和4年4月に救急救命士の資格を取得。休日は子ども3人の優しいパパでもあり、家事や育児にも奮闘するイクメン